

公表

事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

○事業所名	伊勢市おおぞら児童園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年2月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種（保育士・ST・OT・臨床心理士等）が連携して多角的な視点で、評価・支援を提供しています。	当園の保育所等訪問支援と児童発達支援や放課後等デイサービスを併行利用している場合が多いため、必要な支援の見立てについて共通認識を持って、一貫性のある支援を提供しています。	訪問先との情報共有だけでなく、訪問支援での様子を当園の療育職員と共通認識を持ち、今後も訪問先での支援と当園の療育を連動させていきます。
2	センター（多機能型）であるため、利用児が児童発達支援や放課後等デイサービスおよび、相談支援を利用または、利用していた場合は、保護者の同意を得たうえで、療育担当者や相談支援専門員と情報の共有を行っています。	現在利用しているのは、当センター利用および利用していた児童であるため、療育の状況も把握したうえで、支援を行っています。	当センターを利用していない利用児に対しても、関係機関と連携がとれるようにしていきます。
3	センター（多機能型）であるため、訪問支援に必要な教具教材が整っており、効果的な支援に利用できています。	療育担当職員と、教具教材の使い方について検討や情報共有を行っています。また、訪問先の職員に、教具教材を使って、具体的に支援方法等を提案しています。	今後も、支援に使用する教具教材について検討し、具体的に支援方法を伝えるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との訪問時間以外の連携や情報共有がもっとできるとよいと思います。	訪問先の行事等があり、訪問先との日程・時間調整が難しいことがあります。	当園から、積極的に情報共有を行っています。
2	小学校への訪問支援の場合は、学校の状況に詳しい職員がいると、より効果的な支援ができると思います。	保育所での勤務経験はあるが、小学校での勤務経験がある職員が配置されていません。	今後も訪問先の小学校との情報共有や伊勢市こども発達支援室の教員から学校の体制や指導カリキュラムなどについて助言を受けていきます。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名

伊勢市おおぞら児童園

公表日

令和7年 2月 26日

利用児童数

4

回收数

4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	75%	25%	0%	0%		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	100%	0%	0%	0%		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	75%	0%	0%	25%		訪問支援後は、必ず訪問先施設と訪問支援内容について話し合いを行っています。

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	75%	0%	0%	25%		訪問支援報告書を作成し、それをもとに訪問支援の様子を説明し情報共有をしています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50%	0%	0%	50%		自己評価の結果などホームページに掲載しています。3月におおぞらだより（活動報告）を発行します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	25%	0%	0%	75%	聞いたことがないのでわかりません。	緊急時の対応については、訪問先と連携して行います。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75%	25%	0%	0%		安全計画は、園内に掲示してあります。今後はさらに保護者に周知していきたいと思っています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%	0%	0%	0%		
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	親子共々おおぞら大好きです。ありがとうございます。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名			公表日		令和7年 2月 26日	
伊勢市おおぞら児童園			利用児童数		4	回収数 4
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	・わかりやすい。 ・具体的で取り組みやすかった ・子どものその時に必要な援助の仕方や言葉がけを指導して頂けた。手遊び等は分かりやすくすぐに取り入れる事ができた。 ・わかりやすく具体的な説明で良かった。助言を取り入れたことで、支援児との関係も良好に築けた。	今後も、具体的な支援の提案をしていけるように努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	75%	25%	0%	・適切で、子ども、支援者共に助かりました ・言葉の発達に関して舌の動き、手首の使い方等、専門的なことを教えて頂けた。 ・様々な状況での対応や支援児のタイプに合った教材など、教えてもらい購入し、実際使用している。 ・対象児がいろいろな施設を利用しているため、施設によって支援方法、指導内容が違うことがある。どうしたらよいか迷う時がある。	今後も多職種（ST・OT・臨床心理士）で連携して支援内容を検討します。
3	訪問支援員は、質問に対して、随時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	・すぐに対応していただきありがたかった。 ・困っていることを伝え、随時適切な指導方法を助言頂けた。	すぐに質問に答えられない場合は、当園に持ち帰り、検討して後日回答させていただきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消、または軽減されましたか。	50%	50%	0%	・アドバイスを頂いたことで具体的な対応ができた ・保育に取り入れるがすぐに結果が出ることでないので、解消とまではいかなかった。 ・職員間で再度、共通・認識・理解を図れる機会となり、困りごとの解消につながった。 ・対象児がいろいろな施設を利用しているため、施設によって支援方法、指導内容が違うことがある。どうしたらよいか迷う時がある。	今後も課題や困り事が軽減出来るように一緒に支援方法を考えます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	・満足しています ・いつも寄り添った言葉をかけていただき心理的にも支えていただきました。感謝しています。 ・実際に来園して頂き、園での様子も見て頂き子どもへの支援方法を教えて頂くことができ良かった。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・指導は具体的にわかりやすいです。これからもよろしくご指導ください。 ・保護者も安心感をもっていただけたようで、いい関係を築くことにもなりました。				ご多忙の中、日程調整や訪問日にご協力いただきありがとうございます。 今後も訪問先や保護者と情報共有や連携を図りながら、よりよい支援ができるよう心がけてまいります。		

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		伊勢市おおぞら児童園				公表日	令和 7 年 2 月 26 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		訪問支援に適切な教材や支援グッズなどを持参しています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育士・ST・OTなど多職種の適切な職員数を配置しています。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当者会議・療育会議・職員会議を定期的に行い、支援内容についてPDCAサイクルによる業務改善を行っています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	今年度から保護者向け評価を実施しています。	今年度の評価結果をもとに、業務改善につなげていきます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議等で職員から業務改善についての意見を出し合い、その都度改善をしています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		今年度より第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていきます。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月園内研修を実施したり、外部研修に参加したりしています。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員で立案会議を行い、児童発達支援計画を作成しています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先に事前観察に行った時に担任等の意向を聞き、保育所等訪問支援計画を作成しています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		現在使用しているアセスメントツールの見直しを行っており、令和7年4月より新しいアセスメントツールを使用していく予定です。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問の前後に担当者で話し合いをしています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		担当職員間で支援の内容や役割分担について確認を行っています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		担当職員間でこどもの様子や支援方法について反省会を行っています。必要に応じて専門職員の意見を取り入れています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○				
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等関係機関と連携をして支援を行っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ保護者の了承のもと、支援内容の提供を行い情報共有と相互理解を図っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部講師から助言を受けたり、外部研修に参加したりしています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		伊勢市・志摩市の自立支援協議会子ども部会に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後の保護者へのフィードバックでこどもの発達状況や課題について話をしています。必要に応じて個別面談も実施しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングの実施はなかったが、必要に応じてその要素を取り入れた話を個別で保護者にしました。また、保護者学習会を3回実施しました。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・利用者負担金等については契約時に丁寧に説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保育所等訪問支援計画を作成する際には、保護者と個別面談を行いこどもや家族の意向を確認しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談に適切に応じ、面談や具体的な支援方法の助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はないが、保護者交流会を実施しています。また、ペアレント・トレーニングや保護者学習会を通じて保護者同士で交流できる機会を作っています。療育に同行しているきょうだいは、待合室でのきょうだい交流がなされています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		園だよりを月1回、保健だよりを年4回、おそろ活動報告だよりなどを発行しています。	今後は、専門職によるたよりの発行を再開していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っています。また、訪問先の都合により再度訪問することもあります。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ支援内容の報告書を作成し、共有を行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル等は策定している。 職員間で発生を想定した訓練を行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎日安全点検を行い、その都度必要な措置を講じています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、朝礼や職員会議で情報共有を行っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待を防止するために職員の研修機会を確保しています。また、朝礼や職員会議で虐待疑い等の情報共有を行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化のための指針を掲示し、保護者への周知に努めています。	